

皆さんの意見を
反映させる
市議会を
傍聴しましょう

ひの市議会だより

市議会だより 第123号
平成6年6月3日
発行日 野市議会
住所 〒191 日野市神明一丁目12番地の1
電話 (0425) 85-1111
内線 601 ~ 604

第1回定例会

平成6年度一般会計予算を修正可決

一般会計予算額426億1千万円余

(対前年度比3.0%減)

平成6年第1回定例会は、3月9日から4月14日までの37日間にわたり開かれ、市長提出議案40件、議員提出議案3件、請願・陳情10件が審議されました(審議結果は6頁に掲載)。今定例会は、市議会改選後、初の議会であるため、正・副議長の選挙や各委員会委員の選出などの人事構成が行われました。また、一般会計予算・特別

会計予算特別委員会が設置され、平成6年度予算の審議が行われました。一般会計予算では、日野市企業公社法人化事務経費3千500万円を予備費に組み替える修正案が賛成多数で可決されました。また、特別会計予算7件については、全員一致で原案可決されました。

本会議の経過

平成6年第1回定例会は、3月9日に開会されました。今定例会は、2月27日に投票が行われた市議会議員選挙後、初の議会であるため、議長、副議長に先立ち、議長、副議長などの議会構成が行われました。15日、議長選挙が行われ、福島盛之助議員(民主クラブ)が新議長に選出されました。16日、副議長選挙が行われ、宮沢清子議員(公明党)が選出されました。17日、常任委員会委員の選任、一般会計及び特別会計予算特別委員会の設置と委員の選任、特別委員会の設置と委員の選任が議決されました。次に、会期を4月18日まで

32日間延長することに決定した後、市長の所信表明が行われ、それに対し11名の議員から質疑がなされました。18日、市長提出議案35件と請願・陳情7件が上程され、そのうち3件を承認、8件を原案どおり可決、31件が各常任委員会に付託されました。22日・23日、常任委員会が開かれました。24日・28日、一般会計予算特別委員会が開かれました。しかし、委員会最終日の28日

には採決に至らず、31日の本会議前に再度委員会が開かれ、採決が行われました。31日・4月1日未明、本会議が開かれました。市長提出議案1件に同意、22件を原案可決、1件を修正可決しました。また、「第3次日野市基本構想の制定」及び「政治倫理の確立のための日野市長の資産等の公開に関する条例の制定」の件は、さらに調査・研究が必要のために閉会中の継続審査となりました。続いて、請

主な議案と内容

日野市市税条例の一部を改正する
条例の制定
(原案可決)

【提案の理由】 地方税法及び地方財政法の一部を改正する法律が、平成6年3月29日に国会で可決されたことに伴い、日野市市税条例の一部を改正するものです。

【改正の内容】 ①個人市民税の非課税範囲を改正する。均等割非課税基準34万円に、本人と控除対象配偶者及び扶養親族の合計数を乗じた金額に、控除対象配偶者または扶養親族が有る場合には18万円(現行13万円)を加えた金額とする。
②個人市民税の所得割を平成6年度に限り特別減

日野市老人福祉手当条例の一部を
改正する条例の制定
(原案可決)

【提案の理由】 東京都老人福祉手当に関する条例の改正に伴い、老人福祉手当の支給額を改めるため条例の一部を改正するものです。

【改正の内容】 6カ月以上寝たきりの状態であり、今後もその状態が続くと認められる高齢者に対する手当の額を、次のとおり改正するものです。
①70歳以上の方に支給する手当を、月額5万1千

円(現行4万9千円)とする。
②70歳未満の方に支給する手当を、月額4万2千円(現行4万500円)とする。ただし、所得要件基準を超える場合には2万8千円(現行2万7千円)を、また東京都重度心身障害者手当受給者に対しても同様とする。
【条例の施行日】 平成6年4月1日から

議会選出の委員

組合議員等決まる

今定例会で、議会より選出の委員と組合議員等が次のとおり決まりました。

小山良悟
【南多摩東部共立病院組合】 森田 美津雄
【南多摩農業共済事務組合】 土方 尚功
【南多摩商工組合】 小島 久
【南多摩農産物組合】 小川 友一
【南多摩農産物組合】 森田 美津雄
【南多摩農産物組合】 中谷 好幸
【南多摩農産物組合】 夏井 明男

【監査委員】 板垣 正男

【東京都市11市競輪事業組合】 黒川 重憲

【東京都市4市競艇事業組合】 黒川 重憲

【東京都市3多摩地域廃棄物広域処分組合】 内田 勲

【南多摩商工組合】 小川 友一

【南多摩商工組合】 夏井 明男

永年勤続議員表彰

全国市議会議員会及び関東市議会議員会から、永年市政の発展に尽くされたとして、次の方々が表彰されました(敬称略)。
【20年表彰(議員)】 黒川 重憲
【4年表彰(正副議長)】 黒川 重憲

就任あいさつ



副議長
宮沢清子 51歳
(公明党)
市議会議員3期
総務委員

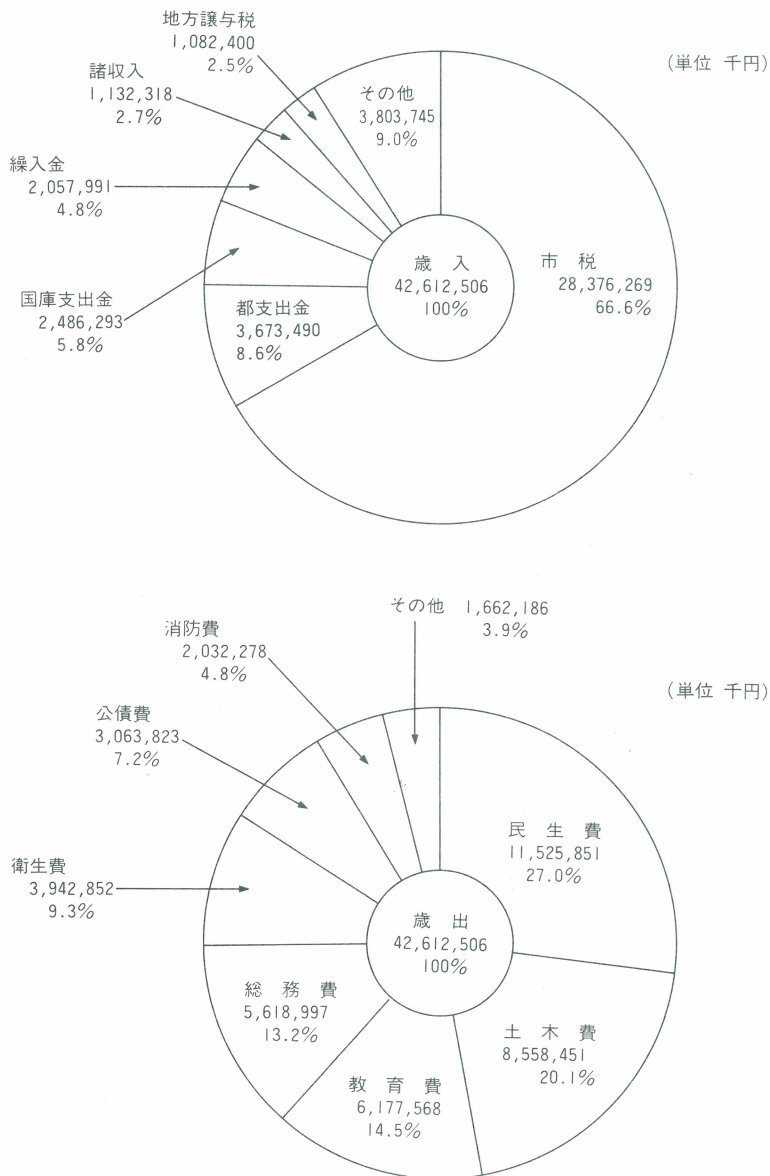


議長
福島盛之助 63歳
(民主クラブ)
市議会議員3期
総務委員

このたび、私も3月定例会において、議長及び副議長に選出されました。誠に身に余る光栄であり、今日の地方自治体が置かれている厳しい状況を考えますと、その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。日野市は昭和38年の市制施行以来、都市計画を着々と進め、自然と人の生活が調和する緑豊かな住宅都市として発展を続けてきました。しかし、今年度の予算は、ご案内のとおり、平成5年に引き続き厳しい編成となっております。このような財政状況の中で、一刻の猶予も許されな

く、深刻化する環境問題、急速に現実化しつつある高齢社会、精神的かつ文化的豊かさを求める市民意識など、日野市が市民とともに解決すべき諸問題が山積しており、その対応が求められております。私も、円滑な議会運営のもとに市議会が「一丸」となつて、ひとつひとつ課題を慎重に審議し、日野市の目指す「緑と文化の市民都市」の建設に向けて努力いたす所存でございます。市民の皆様のお一層のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

平成6年度 一般会計歳入歳出構成図



一般会計

平成6年度一般会計予算特別委員会、3月24日、25日、28日、31日の4日間にわたり開催され、慎重な審議が行われました。

この特別委員会は、委員15名により構成され、市長、助役、教育長、担当部長・課長が予算の説明員として出席しました。

審議に入る前、委員長に中谷幸幸委員、副委員長に小島

久委員を選出し、その後、一般会計予算案42億1千500万6千円(前年対比3%減)に對する審議に入りました。

質疑終結後、意見表明は慣例により各会派代表が本会議場で行うことを確認しました。

審議は歳入全般から始まり、歳出の議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農業費、商工費、土木費、消防費、教育費、公債費、諸支出金、予備費の順に行われ、延べ53人の委員から10件の質疑や行政への提言、指摘が活発に行われました。

質疑の主な内容は、①予算編成の基本的方針、②予算執行に当たっての具体的方策、③健全な財政運営など、市民

平成6年度特別会計予算特別委員会は、3月29日に開催され、慎重な審議が行われました。

この特別委員会は、委員14名により構成され、委員長に奥住日出男委員、副委員長に橋本文子委員を選出した後、7つの特別会計に対して延べ14人の委員から19件の質疑や行政への意見、提言・指摘が行われました。

委員会の結論は、各特別会計とも原案どおり可決すべき

ものとし、委員会は閉会しました。

各会計の予算額は次のとおりです。

- ▽国民健康保険特別会計予算 53億9千373万7千円 (前年対比5.9%増)
- ▽土地区画整理事業特別会計予算 39億5千712万3千円 (前年対比10.7%減)
- ▽下水道事業特別会計予算 83億2千851万5千円 (前年対比8.0%減)
- ▽市立総合病院事業会計予算 39億8千474万円 (前年対比10.5%増)
- ▽受託下水道事業特別会計予算 24億6千320万円 (前年対比14.2%増)
- ▽老人保健特別会計予算 64億2千521万円 (前年対比7.8%増)
- ▽老人入院共済事業特別会計予算 5千137万1千円 (前年対比13.2%増)

特別会計

平成6年度の
予算審議から

委員会の所属が決まる

各議員の所属する委員会が次のとおり決まりました。

【掲載は議席順・
()内は所属会派名】

 ○総務委員 ○市立病院等対策特別委員長 (民主クラブ)	 ○厚生副委員長 ○交通対策特別副委員長 (民主クラブ)	 ○文教委員 ○スポーツ・文化施設対策特別副委員長 (無会派)	 ○厚生委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員 (無会派)	 ○厚生委員 ○交通対策特別委員 (無会派)	 ○文教委員 ○下水道対策特別委員長 (市民クラブ)
 ○総務委員長 ○議会運営委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員 (公明党)	 ○建設委員長 ○議会運営委員 ○市立病院等対策特別委員 (市民クラブ)	 ○建設委員 ○交通対策特別委員長 (日本共産党)	 ○建設委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員長 (護憲市民会議)	 ○文教副委員長 ○市立病院等対策特別副委員長 (護憲市民会議)	 ○総務委員 ○議会運営委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員 (民主クラブ)
 ○厚生委員長 ○交通対策特別委員 (護憲市民会議)	 ○厚生委員 ○議会運営委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員 (民主クラブ)	 ○文教委員 ○議会運営委員長 ○下水道対策特別委員 (民主クラブ)	 ○文教委員 ○市立病院等対策特別委員 (民主クラブ)	 ○建設副委員長 ○下水道対策特別委員 (無会派)	 ○副議長 ○総務委員 (公明党)
 ○建設委員 ○下水道対策特別委員 (公明党)	 ○文教委員 ○交通対策特別委員 (公明党)	 ○厚生委員 ○市立病院等対策特別委員 (公明党)	 ○総務委員 ○交通対策特別委員 (市民クラブ)	 ○文教委員 ○市立病院等対策特別委員 (日本共産党)	 ○総務副委員長 ○議会運営副委員長 ○下水道対策特別委員 (日本共産党)
 ○厚生委員 ○議会運営委員 ○スポーツ・文化施設対策特別委員 (日本共産党)	 ○文教委員長 ○市立病院等対策特別委員 (日本共産党)	 ○総務委員 ○議会運営委員 ○下水道対策特別副委員長 (護憲市民会議)	 ○建設委員 ○下水道対策特別委員 (民主クラブ)	 ○建設委員 ○交通対策特別委員 (民主クラブ)	 ○議長 ○総務委員 (民主クラブ)

一般会計予算 各会派の 総括意見 (要旨)

公明党

修正案賛成

平成6年度一般会計予算の修正案に賛成する立場で公明党の意見を申し上げます。

厳しかった5年度に比べ、6年度はさらに市税の落ち込みが予測される状況です。

基金を20億3千万円取り崩していますが、今そのピークを迎えていることもあり、市財政はもう息切れ状態になっていると指摘せざるを得ません。このような中で、高齢化社会を迎えてどう対応するのか、保健福祉計画が発表されましたが、多摩川福祉ゾーンの活用方法はまだ試行錯誤の段階であります。

市立総合病院問題も今の財政能力から建て替えも先送りになる予算と言わざるを得ません。

また経常収支比率は82%と見込まれていますが、健全財政といえるのは75%という指摘もあります。内部管理経費や物件費を具体的に精査し、市民が納得できるようにしなければなりません。

一点、指摘をさせていただきます。予算編成に当たって予算、決算委員会での指摘を謙虚に受けとめているかが疑問な点であります。委員会で指摘された事を財産とし、予算運営されていない実態も明らかにしたいと思います。

また企業公社の法人化に関する予算は、資金の使い道、事業計画の中身すらなく、3千万円からの予算を提示するのは大変粗末な内容です。しかも企業公社は職員のリストラを伴うのが目的だとは、全く市民サービスをないがしろにした話であり、恐ろしい発想であります。

このような発想で予算を計上されることには反対であり、この企業公社の法人化のための経費を準備に組み替えた修正案に賛成することを申し上げ、意見いたします。

民主クラブ

修正案賛成

民主クラブを代表して、平成6年度一般会計予算に対して意見を申し上げます。

予算総額は前年対比マイナス3・0%であり、下水道事業、土地区画整理事業への一般会計からの繰出金は、それぞれ7千110万円、8千230万円、強い減額予算が計上されています。市民要望の最も高いこれら都市基盤整備の予算は、厳しい財政状況であっても、しっかりと予算計上し事業執行に努めるべきです。

また、病院建設に際しても、四一三ブロックの移転計画や資金計画が明確でないばかりか、建設基金の積立てもありません。

という事実は、病院建設を遂行するために利用したと判断されても仕方がありません。

今年、土地開発公社の補助金の予算額は、この数年10億円を上回っているにもかかわらず、3千500万円の根拠も明らかにされないなど、到底認められざるべきです。

このことから、平成6年度1年間の予算であるとは認められず、否決もいたしたかなしと考へます。しかし、都市基盤整備を計画的に進め、土地開発公社の運営を適正に行い、年度の早い時期にしかるべき最善措置をとることを強く求め、今後の対応に期待します。

最後に企業公社法人化事業経費3千500万円についてであります。株式会社設立のプロセスが不透明であり、事業内容の将来構想も明確でないばかりか、3千500万円の根拠も明らかにされないなど、到底認められざるべきです。

このことから、平成6年度1年間の予算であるとは認められず、否決もいたしたかなしと考へます。しかし、都市基盤整備を計画的に進め、土地開発公社の運営を適正に行い、年度の早い時期にしかるべき最善措置をとることを強く求め、今後の対応に期待します。

日本共産党

原案賛成

日本共産党日野市議会議員団を代表して平成6年度一般会計予算案に対して修正案に反対し原案に賛成の立場で意見を申し上げます。

この厳しい地方財政のもと日野市の新年度予算の素晴らしは、国、東京都の予算と対比すればわかります。国においては郵便、電話料金等の公共料金の引き上げ、都におきまして水道料金を始め50種類に及び公共料金の引き上げ等、住民に負担を強いる予算になっています。それに対し日野市の予算は公共料金を引き上げることなく市民本位の予算編成がされているところ

です。したがって修正案の内容は修正するほどの必要性が認められません。第2の賛成理由は、市民参加の推進に関する要綱の制定であります。全国でも初めてであり新聞、テレビ等で高く評価して報道したところでも証明されています。

次に歳出について簡潔に評価点だけを申し上げます。福祉と健康対策では、①喉頭がん検診の開始。②市立総合病院建設に伴う調査。③栄町サ一ビスセンターの運営と高齢者対策。教育対策では、移動教室等に看護婦派遣事業の開始。住宅対策では、借上公共賃貸住宅の増設等の予算であります。

このように市民本位のまちづくりを中心に20年間にわたる憲法を市政に生かす住民参加の政策立案など市民に目を向けた革新市政の基本姿勢があつたからであります。

次に国、都に対する財政上の要求を申し上げます。

①栄町サ一ビスセンターの運営費への補助対象。②学校図書館嘱託員への補助対象。最後に市民本位の予算を今後とも築き上げていくことが必要であると申し上げ、原案賛成の意見いたします。

護憲市民会議

原案賛成

護憲市民会議を代表して、平成6年度一般会計予算に対して、修正案に反対し原案に賛成する立場で意見を申し上げます。

人間のまち「日野」にふさわしい諸施策を、苦しい財政状況の中、優先順位を見誤ることなく積極的に予算化していることを高く評価します。

その中でも、栄町サ一ビスセンターの開設は、高齢者を大切にする市政の象徴的な面の前進と考えます。さらに多摩川福祉ゾーンの一日も早い実現と、老人保健福祉計画に沿った事業の前進を強く望みます。

また、ホームヘルパー派遣事業、第二たんぼの家への補助金等、心身障害者が平等に生活できる環境を整える施策を高く評価します。今後、障害の種類や程度に応じたきめ細やかな施策を望みます。

こみ減量、資源回収への取り組みも評価しますが、最終処分場問題への安易な対応のしないことを願います。

また、革新市政の基本理念を生かした緑の保全のための施策も大きく前進しました。

市立病院の建て替え、南部地域の医療施設建設について踏み込んだ議論を、また、学校図書館嘱託員配置の条件整備、市民参加の推進に関する要綱の条例化を強く要望いたします。

最後に、企業公社の法人化に対する予算の修正案には反対します。市民サービスに創意工夫をもち、広範囲に事業展開が期待できるという意味から、株式会社化することとは、画期的な試みだと思えます。設立のための出資金3千万円は、しっかりと財産的基盤をもって経済界に登場するために必要と考えます。

以上、原案賛成の立場の意見とさせていただきます。

市民クラブ

修正案賛成

市民クラブを代表して平成6年度一般会計予算について原案反対、修正案賛成の立場で意見を申し上げます。

これまで「限られた財源のより効率的な運用」を基本に諸施策の推進をお願いしてきましたが、今後更に加速する高齢化社会、環境汚染への対応、一方ではゆとりと豊かさを実現する市民ニーズにも対応して、市立総合病院の早期建て替えは言うまでもありません。以上、行政側の積極的な取り組みを要望します。

次に本予算の問題点を2点指摘します。1点目は土地開発公社助成金について、自治法では一度に必要経費はすべて計上しないと定められていますが、半期分しか計上していません。法律違反であり本来決すべきところですが、予算執行上、混乱を招くので今回は認めますが、早期に残り半期分を補正予算として計上するよう要望します。

2点目は日野市企業公社の法人化経費の3千500万円を始め、会社設立の根拠など基本的な考え方、会社組織等不明な点が多く時期尚早と言わざるを得ません。修正案のおり予備費に組み替える十分な検討をした後、予算措置を行うよう要望して、意見いたします。

他に無会派の議員からそれぞれ意見表明がありました。

一般

要旨

質問



各定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今回は22名の議員から44件の質問がありました。

小島 久

(民主クラブ)

通勤地獄の緩和をめざして

問1 日野駅、豊田駅から都心への通勤通学者数を問う。
問2 立川―三鷹間の複々線の建設計画について問う。
問3 日野駅の駅舎の改造、改札口の増設について問う。
問4 日野駅西駐輪場の屋外部分を利用し跨線橋による改札口の設置が考えられないか。答 企画財政部長

旗野 行雄

(民主クラブ)

東京都保健医療計画の改訂と市内医療施設の充実について

問 南部地域総合病院の具体的な方向性について問う。
答 企画財政部長
用地は市が提供し、経営方法は医療法人的な組織を考えたおり、現在、その方向で医師会に打診しております。
西平山区画整理に関連する諸問題について
答 企画財政部長
答2 粘り強く交渉を続け、実現に向けて努力いたします。

鈴木 美奈子

(日本共産党)

米の輸入自由化に反対し、米不足による不安を解消させ、市民への米の確保と、保育園、学校、市立病院、特養老人ホーム等に対する対策を

問1 市内産米を買い上げる制度を作れないか問う。
問2 公共施設における米対策について問う。
答 生活文化部長
答1 現在の食糧制度では困難ではないかと考えます。

板垣 正男

(日本共産党)

大坂上都営住宅建てかえと在宅福祉サービスセンター設置について

問 大坂上都営住宅の建てかえに伴い、サービスセンターの併設が出来るか問う。
答 市長
都営住宅の建てかえの諸条件に合致し、また地理的にも適当な場所なので東京都に打診し、今後十分検討していきます。

日野市立総合病院の将来像について

問 総合的な医療や包括的な医療体制の将来像について。
答 病院事務局長
医療提供の他に在宅ケアサービス、健康管理、福祉医療等住民参加による病院を考えたいです。
学校図書館の充実について
問 嘱託職員の身分の安定について問う。
答 教育長
努力したいと思っています。

橋本 文子

(護国市民会議)

幼児を連れた市議会傍聴者のために保育の保障を

問 幼児を連れた傍聴者への市の対応について問う。
答 総務部長
幼児と一緒に傍聴席に入っている方が現状です。規模が小さい、設備が整っていないのが現状です。複合文化施設の建設とあわせて、建て替えを検討いたします。
答 生活文化部長
答2 担当部長と協議してまいります。

吉富 正敏

(民主クラブ)

福祉行政について問う

問 保育料の口座振替制度を導入できないか問う。
答 福祉部長
税関の口座振替を平成7年度から実施の方向で現在検討中です。

問 子育てに合わせた保育料、学童クラブ費等も希望者には口座振替を実施したいと考えています。
まちづくりの方向性について問う

沢田 研二

(市民クラブ)

21世紀をも見据えた日野市の財政基盤確立について問う

問 昨今の大変厳しい経済情勢の中で日野市の財政状況を見ると、過去5年間で合計100億円を超える基金からの繰り入れをして、収支を保ち予算編成をしている厳しい状況にある。その中で財政基盤の裏づけのある第3次基本構想・基本計画を策定すべきと思う

問1 多摩平団地建て替えについて市の対応を問う。
問2 多摩平下水処理場の跡地利用について問う。
答 市長
答1 現在、居住されている方が、建て替えによって困窮を受け、将来の希望を失うことが絶対ないよう取り組んでおります。
答 企画財政部長
答2 市の貴重な財産です。市民の方々に喜ばれる施設を検討していきたいと考えております。

小山 良悟

(民主クラブ)

財源確保に全力を(その1)

問 従来の予算編成方法を廃止し、年度毎にすべての事業の必要性を根本から洗い直し、ゼロから査定するゼロベース方式について市長の考え方を問う。
答 市長
ご提言は理解のできる、日常的な心構えとしておくべきものだと思いました。財政運営の一般原則として「入るを

量って出するを制す」あるいはスクラップ・アンド・ビルドで絶えず時代の要請、市民要望に的確に添っていくということが大切なのは同感です。
情無用の森田市長、突然の市立病院長解任問題を問う
問 人事異動を行うときは人権及び人格を尊重すべきだと思いが、今回の人事についての市長の反省の弁を求めたい。
答 市長
十分反省をし、三田先生にもれを尽くしたいと思っております。

江口 和雄

(市民クラブ)

人にやさしいまちづくり、市側の見解を問う

問1 ゴミの分別収集と環境教育について問う。
問2 雨水浸透ます設置について問う。
答 市長、教育長
答1 よりよい方向へ進むよう、リサイクルステーションの用地確保も含め鋭意努力してまいります。また、環境問題は教育委員会と連絡をとり指導したいと考えます。
答2 全市、あるいは全宅地に普及させたいと思います。
公共施設等の適正配置について問う
問 基本計画策定に市内の人口変動を考慮した公共施設配置計画がされているか。
答 市長、企画財政部長
各分野の計画を積み、人口に比例した施設計画を考えたいと考えています。また、少しレベルの高い公共施設も考えたいと思います。

佐藤 洋二

(無会派)

JR中央線「仮称西豊田駅」開業について再度問う

問 西豊田駅実現に向けての市の決意と今後の運動について考えを問う。
答 市長
西豊田駅設置は日野市の大きな悲願の一つであり、実現に向け更に強く要請するとともに政治力等あらゆる手段を講じて努力していきます。
問1 栄町高齢者住宅サービスセンターの完成等により希望者全員に配食できないか。
問2 高齢者就業相談窓口の設置の考えを問う。
答 福祉部長
答1 資格条件等、十分な調査を行い対応を考えます。
答2 早い時期に検討し、窓口設置に努力していきます。



老後の生活 二題について問う
(1) 老人給食の増配食について
(2) 高齢者就業相談日の充実について

夏井 明男

(公明党)

日野市議会議員選挙(平成6年2月27日執行)をふりかえって

問 「日野市議会議員の政治活動等に係る決議」が、先の市議選で守られていたと考えらるか。

答 市長

公職選挙法に基づき正しい選挙が行われたと考えます。

東京都高齢者福祉施策の補助行政と日野市の対応

問 日野市の高齢者福祉対策の特色について問う。

答 福祉部長

国や都の制度及び補助事業を補完する形で、35件の市単独事業を行っています。

行政の本流

問 権限を分散し計画性を保つことが行政の本流と考えるが、現状と見解を問う。

答 市長、助役

大部分は各部署に判断をゆだねておりますが、政治姿勢に基づき指示を行うことも、市長の任務と考えています。

馬場 繁夫

(公明党)

所信表明及び保健福祉計画について問う

問 高齢者住宅サービスセンターの設置場所及び区割方法について問う。

答 福祉部長

厚生省の指導により、人口2万人当たり一カ所あるいは中学校区に一館という基本により現状では中学校単位で計画を進めていきたいと考えています。

真の市民参加推進について問う

問1 市民参加の推進に関する要綱の策定について問う。

問2 自主防災組織の設置について問う。

答 市長

答1 地方自治体こそ市民参加に一番身近な組織団体なので、できるだけ努力するという考え方を庁内の約束事として要綱化いたしました。

答2 地域ごとに様々な考え方があり、意見等を聞いてから考えていきたいと思っています。

内田 勲

(市民クラブ)

豊田南口駅前開発と区画整理事業の見通しについて問う

問1 駅前構想について問う。

問2 区画整理の進捗状況と今後の見通しについて問う。

答 都市整備部長

答1 駅前の整備と同時に商業の活性化を図ります。

答2 換地につきましては積極的に進めているところであります。下水道につきましても、

佐瀬 昭二郎

(護国市民会)

「第3次基本構想」など諸施策について

問1 日野市市民参加の推進に関する要綱について問う。

問2 市民文化施設・スポーツ施設の整備について問う。

問3 移動公民館等は継続的に実施するのかを問う。

問4 緑と清流政策を問う。

答 企画財政部長

答1 市民参加は、協議会、委員会等で行っていますが、今後、要綱を制定したのは、市民参加に一定の基準を定め、行政分野に広く市民参加を求めていくための要綱です。

答2 それぞれの目的別単位の施設でなく、複合的な中規模コミュニティセンターの中に文化施設を組み入れていきたいと考えています。

答3 今後、余裕教室等は、社会教育分野に対し、学校教育に支障のない範囲で原則的には開放していく考えです。

答4 水辺環境整備計画に基づき事業の進展を図ります。



清流を私たちのまちに (向島用水)

竹ノ上 武俊

(日本共産党)

どんな名前でも消費税の増税には反対せよと問う

消費税率アップについて日野市の考え方を問う。

問 越境通学について、規制を緩めることができないか問う。

また、学区について、一部フリーゾーンを設けることができないか問う。

答 教育長

柔軟な対応を検討していきます。

年金生活者への低家賃政策を更に充実せよと問う

天野 輝男

(民主クラブ)

区画整理事業の進め方を問う

問1 区画整理事業の進め方と資金計画について問う。

問2 豊田南口区画整理事業の進め方について問う。

問3 市道整備部長

資金面で東京都と協議し、用地確保を含め早期に事業を進めるよう鋭意努力してまいります。

答2 親水橋という位置づけ

問1 保育園では、国産米を確実に継続購入ができるよう検討しております。学校においては、東京都学校給食会に働きかけをしております。

答2 保育園では、国産米を確実に継続購入ができるよう検討しております。学校においては、東京都学校給食会に働きかけをしております。

執印 真智子

(無党派)

学校給食等、公給食へ日野産の米・小麦を、

問1 地元産の米、小麦の公給食への利用について問う。

問2 公給食への国産米の確保について問う。

答 生活文化部長

市内産の米、小麦の経常的な利用は難しい状況です。教育的な利用等、臨時的な利用であれば可能と考えます。

答 福祉部長、学校教育部長

中谷 好幸

(日本共産党)

町の中に重度障害者の生活施設を、

問1 送迎のために運転手を確保し配置できないか問う。

問2 市内に所施設の設置ができないか問う。

答 福祉部長

できる限り、早急に検討します。

設備、運営に関する基準等、設立の条件が非常に厳しく困難な状況であります。

一小学校区に児童館を

で適切な財源を確保し進めてまいります。

交通網の不便地域のミニバスの運行を問う

問1 三井台団地のバス運行について問う。

問2 鹿島台団地のバス運行とバス停設置について問う。

答 企画財政部長

現在協議されています。

答2 現在地元住民と協議中です。

問1 大型打楽器の貸し出し制度の実施と、大型楽器の保管場所の設置について問う。

問2 余裕教室の具体的な活用について問う。

問3 国鉄東武跡地を一般開放できないか問う。

答 生活文化部長

施設のスぺース不足及び保管の困難さ等があります。

米沢 照男

(日本共産党)

文化、スポーツ施策の充実について

問1 大型打楽器の貸し出し制度の実施と、大型楽器の保管場所の設置について問う。

問2 余裕教室の具体的な活用について問う。

問3 国鉄東武跡地を一般開放できないか問う。

答 生活文化部長

施設のスぺース不足及び保管の困難さ等があります。

菅原 直志

(無党派)

学校における「空き教室」の利用について

問 余裕教室を市民団体に開放できないか問う。

答 学校教育部長

管理上、責任者である校長と地域開放のかかわりが、きちんとした責任のとれる体制になれば可能ですが。

今年度から喉頭がんの検診を追加し、今後肝がん、すい臓がん等徐々に検討したいと考えており、PRについては広報誌で取り上げていきます。

水道水について

田原 茂

(公明党)

駅周辺の今後の駐輪場建設計画を問う

問1 自転車法の改正に伴う自治体の取り組みを問う。

問2 借地の駐輪場で地主からの返還要求や相続のため処分したい等の話を聞いているが、市に買取計画はないか。

答 建設部長

法改正を踏まえ、市条例の改正も含めた対応が必要と考え、準備しています。

問 市民要望にこたえられるか。

答 企画財政部長

4-3ブロックには300床の病院建設が可能で、一通りの医療施設等はそろいますが、救急医療は全診療科目にスタッフが配置できません。

奥住 日出男

(民主クラブ)

市立総合病院の建て替えについて問う

問1 昨年2月に基礎調査計画書がまとめられたが、その後の取り組みについて問う。

問2 昨年12月に東京都保健医療計画が見直され、ベット設計とフロア面に関する調査を進める手順についてのスケジュールはできあがっていますか。

問3 今後の計画について問う。

答 企画財政部長

答1 多摩平四丁目3番地ブロックの既存施設に係る部署と施設の扱いを検討し、一応の方向は出ております。

答2 市立病院の建て替え計画が進行していることは、東京都に報告してあります。

答3 300床規模の病院を計画しており、平成6年度に基本設計とフロア面に関する調査を行います。また、計画を進める手順についてのスケジュールはできあがっています。財政的に厳しい状況もありますが、現段階では申し上げられません。

調査方法を問う。

答 水道部長

各浄水場水系ごと給水栓から採取し検査しています。平成5年度は年4回定期検査を行いました。検出方法はガスクロマトグラフ方法です。

菅原 直志

(無党派)

ガン検診制度について

問 ガン検診制度の拡大計画と制度の広報活動を問う。

答 生活文化部長

今年度から喉頭がんの検診を追加し、今後肝がん、すい臓がん等徐々に検討したいと考えており、PRについては広報誌で取り上げていきます。

水道水について

トリハロメタン含有率の



4月に開設した栄町高齢者在宅サービスセンター

請願・陳情の審査状況

総務委員会

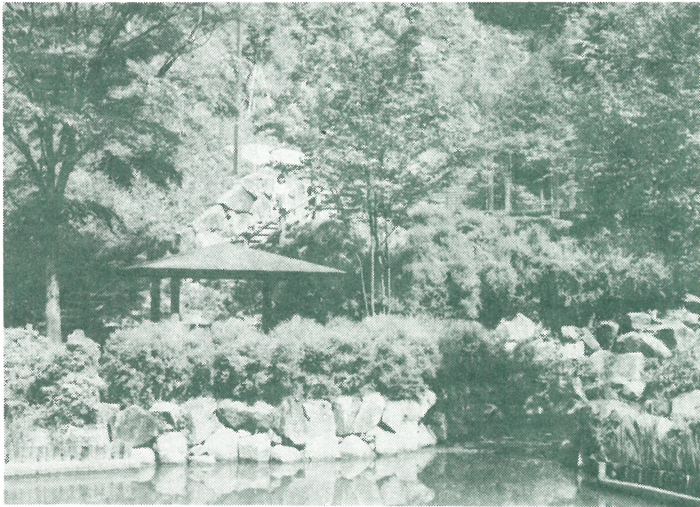
継続

◎南平一丁目二丁目住宅地内への路線バス導入計画の見直しについての陳情

文教委員会

継続

◎「学校五日制」にふさわしい、ゆとりある教育内容にするために新学習指導要領を早



新緑がまぶしい南平丘陵公園

急に再改訂することを求める意見書」を国にむけて提出することを求める請願

厚生委員会

継続

◎年金支給開始を65歳に遅らせることに反対する意見書提出を求める請願

◎多摩平五丁目地区センター設立に関する請願

建設委員会

継続

◎通学路の安全確保に関する請願

◎旭が丘三丁目のグリーンコーポ豊田(仮称)の建設計画に関する請願

◎堤防上のサイクリング道路へ車椅子で上がるためのスロープ設置に関する請願

◎多摩平団地の建て替えに伴う都営住宅の併設に関する意見書提出を願う請願

◎公園建設に関する請願



請願・陳情の提出の仕方

請願・陳情は、市民の皆さんの声を市政に反映させることができる有効な手段であり、どなたでも提出することができます。請願書はなるべく横書きにし、請願する内容と請願代表者及び署名される方の住所、氏名を記入のうえ、押印して提出ください。印もれは請願者数には含まれませんので、ご注意ください。提出される方へ

(例)

日野市議会議員様
〇〇〇〇に関する請願
平成 年 月 日
請願代表者
住所
氏名
電話
他名
紹介議員
氏名

(本文)

請願の要旨

市議会の傍聴を

市議会は、市民の意見や要望を代表して市の方針を決定する機関です。市議会は、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、議会事務局にお申し出ください。また、本会議の様子は、市役所1階市民ホールのテレビモニターで放映しています。

会議録のご案内

市議会の本会議で論議されたことは、会議録にまとめられ、市内の図書館でご覧いただけます。今回(第1回定例会)の会議録は、6月中旬にできあがる見込みです。

目の不自由な方へ

市議会では、目の不自由な方のために「市議会だより」の点字版とテープ版を作成しています。ご利用を希望される方は、議会事務局(☎85-1111 内線603)までご連絡ください。

今定例会で議決した議案

市長提出議案

- 1 平成5年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分 (承認)
- 2 日野市公共下水道浅川右岸第五処理分区(5-3)工事請負契約の変更に関する専決処分 (承認)
- 3 日野市公共下水道浅川左岸第五処理分区(5-1)工事請負契約の変更に関する専決処分 (承認)
- 4 日野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 5 日野市市税条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 6 日野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 7 日野市中心身障害者(児)福祉手当支給条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 8 日野市老人福祉手当条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 9 日野市児童育成手当条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 10 平成5年度日野市一般会計補正予算(第4号) (原案可決)
- 11 平成5年度日野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (原案可決)
- 12 平成5年度日野市土地地区画整理事業特別会計補正予算(第4号) (原案可決)
- 13 平成5年度日野市下水道事業特別会計補正予算(第4号) (原案可決)
- 14 平成5年度日野市立総合病院事業会計補正予算(第3号) (原案可決)
- 15 平成5年度日野市受託水道事業特別会計補正予算(第2号) (原案可決)
- 16 平成5年度日野市老人保健特別会計補正予算(第1号) (原案可決)
- 17 平成6年度日野市一般会計予算 (修正可決)
- 18 平成6年度日野市国民健康保険特別会計予算 (原案可決)
- 19 平成6年度日野市土地地区画整理事業特別会計予算 (原案可決)
- 20 平成6年度日野市下水道事業特別会計予算 (原案可決)
- 21 平成6年度日野市立総合病院事業会計予算 (原案可決)
- 22 平成6年度日野市受託水道事業特別会計予算 (原案可決)
- 23 平成6年度日野市老人保健特別会計予算 (原案可決)
- 24 平成6年度日野市老人入院共済事業特別会計予算 (原案可決)

議員提出議案

- 25 日野都市計画事業高幡土地区画整理事業の施行に伴う水道施設の整備に関する協定の変更 (原案可決)
- 26 日野都市計画事業豊田南土地区画整理事業の施行に伴う水道施設の整備に関する協定の変更 (原案可決)
- 27 日野都市計画事業高幡土地区画整理事業に関する業務委託契約の変更 (原案可決)
- 28 日野都市計画事業豊田南土地区画整理事業に関する業務委託契約の変更 (原案可決)
- 29 日野市公共下水道事業(事業の一部)に関する業務委託契約の締結 (原案可決)
- 30 (仮称)日野市栄町サービスセンター新築工事に関する協定の変更 (原案可決)
- 31 日野市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 32 日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 33 日野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 34 日野市監査委員の選任 (同意)
- 35 日野市市税条例の一部を改正する条例の制定 (原案可決)
- 1 住宅・都市整備公団の家賃大幅値上げに関する意見書 (原案可決)
- 2 細川首相の佐川疑惑解明を求める意見書 (原案可決)
- 3 地方分権の推進に関する意見書 (原案可決)

編集後記

市議会だより第123号をお届けします。市議会議員選挙後初めて開かれた今定例会で、議会報編集委員会も新しい構成になりました。新委員でお届けした「市議会だより」はいかがでしたでしょうか。今後も読み易い紙面作りに心掛け、新委員一同努力してまいります。ご意見、ご感想をお寄せください。

【議会報編集委員】

- 委員長 天野 輝男
- 副委員長 板垣 正男
- 委員 小川 友一
- 田原 研二
- 奥住 日出男
- 一ノ瀬 隆
- 米沢 照男
- 福島 盛之助
- 宮沢 清子 (副議長)